

2022年度【広島】

# 登録ALC基幹技能者講習 修了試験 問題

1. 試験時間：60分
2. 問題数：25問（四者択一式：「最も不適當」なものを選ぶ）
3. 注意事項
  - (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
  - (2) 受講番号と氏名を、解答用紙の所定の欄に正しく記入してください。記入がない場合や正しくない場合は、不合格となることがあります。
  - (3) 本冊子のページ数（問題記載ページ：1～8ページ）と試験問題数（25問）を確認してください。落丁、乱丁、印刷不鮮明な箇所などがあつた場合には、黙って手を挙げてください。
  - (3) 机の上に置くことができるものは、「受講票」、「黒の鉛筆またはシャープペンシル」、「消しゴム」、「時計（携帯電話など、他の機能がないもの）」、「色鉛筆・マーカー等の印を付けるための筆記用具」です。
  - (4) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用できません。
  - (5) 解答の方法は、次のとおりです。
    - ① 正解（最も不適當なもの）と考えるものを選択肢1～4の中から1つだけ選び、黒の鉛筆またはシャープペンシルで、解答用紙の回答欄に、その番号を記入してください。
    - ② 解答を訂正する場合は、消しゴムできれいに消した後、新しい番号を記入してください。
  - (6) 試験中、質問等があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問には、お答えできません。
  - (7) 試験開始30分以降は、退室することができます。その際は、黙って手を挙げて試験監督者の指示に従ってください。
  - (8) 試験終了の合図があつたら、筆記用具を置き、試験監督者の指示に従ってください。
  - (9) この問題冊子は、持ち帰ることができます。なお、全会場の問題は、2022年度の全ての講習が終了した後に、正解と共にALC協会のウェブサイトで一定期間公開します。
  - (10) 試験開始の合図で始めます。

一般社団法人 ALC協会

問題 1 登録基幹技能者に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 登録基幹技能者は、現場における高度なマネジメント業務を担う。
- 2 登録基幹技能者は、現場における下請のイベントに参画する。
- 3 登録基幹技能者は、現場における元請の管理業務に参画する。
- 4 登録基幹技能者は、現場における元請の補佐をする。

問題 2 建設技能者の職業能力基準やキャリアパスに関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 レベル 1 は、経験年数の目安が 0～3 年程度である。
- 2 レベル 2 は、経験年数の目安が 4 年～10 年程度である。
- 3 レベル 3 は、経験年数の目安が、5 年～15 年程度である。
- 4 レベル 4 は、経験年数の目安が、15 年～25 年未満である。

問題 3 登録基幹技能者制度の活用における公共工事の総合評価項目に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 地域貢献度
- 2 登録基幹技能者の配置
- 3 配置予定技術者の能力
- 4 企業の長時間労働

問題4 登録基幹技能者に求められる能力に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 判断力
- 2 分析力
- 3 工作力
- 4 知識力

問題5 登録基幹技能者に必要な資質に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 信頼がある。
- 2 勇気を出して実行できる。
- 3 執念がある。
- 4 決断力がある。

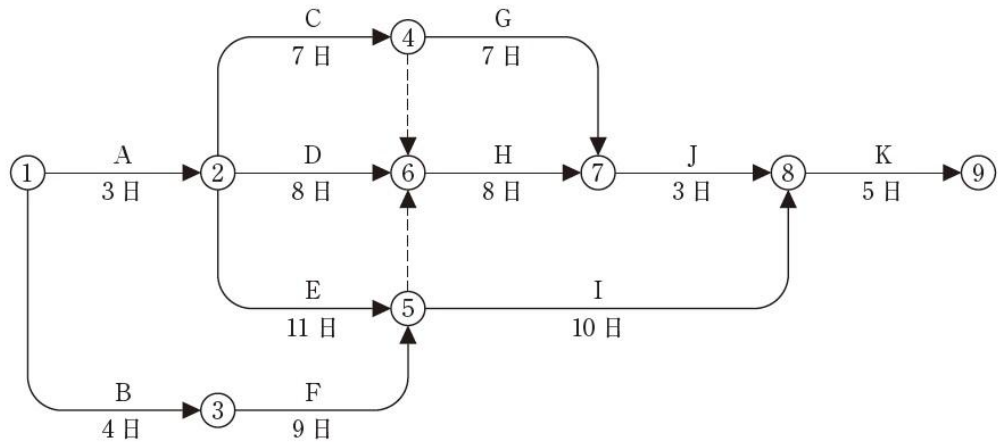
問題6 登録基幹技能者としての倫理・法令の遵守に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 コンプライアンスは、法令遵守のことである。
- 2 コンプライアンスは、企業の社会的責任である。
- 3 コンプライアンスは、組織の社会的責任である。
- 4 コンプライアンスは、交通ルールを守ることである。

問題7 レベルに応じた技能者の指導・教育に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 OJT は、幅広い職務能力を育成できる。
- 2 OJT は、外部との接触の機会を提供する。
- 3 OJT は、組織外の実態や考え方を知ることができる。
- 4 OJT は、製品の販売を拡大する機会を増やすことができる。

問題 8 次の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



- 1 この工程表のクリティカルパスは、A→E→H→J→K である。
- 2 この工程表の工期は、30 日である。
- 3 作業 E のトータルフロート（余裕日数）は、0 日である。
- 4 作業 K の最早開始時刻（EST）は、5 日である。

問題 9 わが国の建設業における労働災害減少の要因に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 建設業法等の安全関係法規の整備
- 2 発注者等による安全施工に関わる各種技術基準の整備
- 3 クレーン過負荷防止装置等の安全に作業するための機械等の開発
- 4 手すり先行工法等の設備等の開発

問題 10 施工管理における三大管理とその関連性に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 工程と原価の関係で、施工速度を上げ過ぎると突貫作業となり、逆に原価は高くなる。
- 2 原価と品質の関係は、一般的に品質を良くすると原価は低くなるが、品質を下げると原価は上がる。
- 3 品質と工程の関係は、品質の良いものは一般に時間がかかり施工速度は遅くなるが、品質を下げると施工速度は上がる。
- 4 工程と原価の関係は、施工速度を上げると単位時間当たりの出来高が増え、原価は安くなる。

**問題 11 施工要領書の周知方法に関して、最も不適当なものはどれか。**

- 1 関係作業員全員参加のもとで説明する。
- 2 安全、品質、工程の管理上の急所を入れて説明する。
- 3 自職について説明し、他職との関連工事について説明しなくともよい。
- 4 設備の設置時期、設置方法については説明する。

**問題 12 見積りの確認に関して、最も不適当なものはどれか。**

- 1 土質、周辺の確認、近隣協定、駐車場の有無等、施工に影響する現場条件を確認する。
- 2 設計図書での不明確な点や図面の相違点等を質疑によって明確にし、あいまいな見積りを行わない。
- 3 工事の着手時期や作業員の確保等は着工後に検討を行うので、指定された工程での見積りを優先する。
- 4 材料の支給、取り合い部の施工業者、書類の提出等、原価に直結する施工範囲を明確化する。

**問題 13 専門工事業者の原価管理に関して、最も不適当なものはどれか。**

- 1 見積りの作成では、現場条件、施工範囲等を検討し、条件に合わせた見積りをするのが大切である。
- 2 見積書の経費では、直接工事費だけでなく、社会保険料等の企業負担分をはじめとした会社経費も確実に確保しなければならない。
- 3 工事現場では、見積内容を理解しておき、契約内と契約外をきちんと仕分けることが現場の原価管理では重要となる。
- 4 技能労働者の処遇改善は重要であり、国をあげて社会保険の未加入対策が進められているが、下請人は見積時から法定福利費を必要経費として確保する必要はない。

**問題 14 設計品質に関して、最も不適当なものはどれか。**

- 1 設計品質の内容や決め方には、「仕様規定」と「性能規定」の2つの考え方がある。
- 2 「仕様規定」は、設計図書にメーカー名や仕様を明示したり、施工方法を指示する方法である。
- 3 「仕様規定」は、求める品質がより具体的に表現され、その成否も明快であり、施工に関わる技術革新や経済・社会の変化への柔軟な対応が容易である。
- 4 「性能規定」は、詳細な方法を指定しないで、求める品質を明示し、それが満たしていれば良いとする方法である。

**問題 15 総合的品質管理の必要性に関して、最も不適当なものはどれか。**

- 1 品質の確保・向上には、設計・監理者や総合工事業者、専門工事業者等の間だけで品質の考え方について共有すればよい。
- 2 企業全体の参加、協力、統制による品質管理活動を総合的品質管理（TQC）と呼ぶ。
- 3 日本の高品質の源は、ボトムアップにあり、総合工事業者や専門工事業者による地道な品質管理活動によるところが大きい。
- 4 近年はトップマネジャーのリーダーシップにより組織が一丸となって顧客満足度の向上を目指す TQM が普及している。

**問題 16 墜落制止用器具に関して、最も不適当なものはどれか。**

- 1 厚生労働省では、安全帯の名称を「墜落制止用器具」に改め、その名称・範囲と性能要件などを見直している。
- 2 特別教育を新設し、墜落による労働災害の防止のための措置を強化したが、墜落制止用器具の安全な使用のためのガイドラインは策定していない。
- 3 墜落制止用器具はフルハーネス型安全帯を使用することが原則となり、2022年1月2日から完全施行となっている。
- 4 高さ2m以上の箇所であって作業床を設けることが困難なところにおいては、墜落制止用器具のうちフルハーネス型安全帯を用いて行う作業では、「安全衛生特別教育」を受けなければならない。

**問題 17 建設業法における施工体制台帳・施工体制図に関して、最も不適当なものはどれか。**

- 1 特定建設工事を施工するために締結した下請契約に請負代金の合計が4,000万円以上となる場合は、公共工事のみ施工体制台帳と施工体制図を作成する。
- 2 施工体制台帳は、一次、二次下請等の工事施工を請け負うすべての業者名、各業者の施工範囲、技術者氏名等を記載したものである。
- 3 公共工事を受注した建設業者が下請契約を締結するときは、その金額にかかわらず施工体制台帳を提出することが求められる。
- 4 施工体制図は、各下請負人の施工分担関係が一目で分かるようにしたものであり、施工分担関係を把握することができる。

問題 18 ALC パネル工事の用語の解説に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 伸縮目地とは、外壁の美観性を高めるためパネル間やパネルと他部材の間などに設けた目地をいう。
- 2 下地とは、パネルが取り付けられる部材で支持鋼材部材および下地鋼材ならびに下地木材をいう。
- 3 補修用セメントモルタルとは、パネルの欠損部の補修や座掘りによるパネルの凹部などを埋め戻すための専用セメントモルタルをいう。
- 4 はね出し部とは、パラペットなどにおいて、パネルの取付け部から補強鋼材などを設けることなくパネルを持ち出した部分をいう。

問題 19 ALC パネルを用いた耐火建築物に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 ALC パネルによって構成される各部位は、火災に対して所要の耐火性能を有するものとする。
- 2 耐火性能の性能値は、耐火時間によって表示する。
- 3 耐火構造に要求される技術的性能は遮熱性、遮炎性、吸水性である。
- 4 耐火性能を確保するために、パネル間に設けた伸縮目地などの隙間となる部分には、ロックウールなどの耐火目地材を充填する。

問題 20 間仕切壁用 ALC パネルの取付け構法に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 間仕切壁ロックング構法は、ALC パネル下部を RF プレートにより躯体に取り付ける。
- 2 縦壁フットプレート構法は、ALC パネル上部にイナズマプレート R を用いる場合は定規アングルに溶接しない。
- 3 縦壁ロックング構法は、間仕切壁に用いることが出来る。
- 4 横壁アンカー構法は、間仕切壁に用いることが出来ない。

問題 21 間仕切壁用 ALC パネルの厚さごとの最大長さに関して、最も不適当なものはどれか。

	厚さ (mm)	最大長さ (mm)
1	75、80	5000
2	100	5000
3	120、125	6000
4	150	6000

問題 22 ALC パネルへの加工範囲の目安に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 外壁用 ALC パネルへの溝掘りは、パネル 1 枚当たり 1 本かつ幅 30mm 以下、深さ 10mm 以下である。
- 2 屋根用 ALC パネルへの溝掘りは、パネル 1 枚当たり 1 本かつ幅 20mm 以下、深さ 10mm 以下である。
- 3 外壁用 ALC パネルへの孔あけは、主筋を切断しない範囲で直径がパネル幅の 1/6 以下である。
- 4 床用 ALC パネルへの孔あけは、主筋を切断しない範囲で直径 50mm 以下である。

問題 23 ALC パネルの工事範囲に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 鉄骨造の外壁・間仕切壁において、耐風梁や間柱の設置は ALC パネル工事の工事範囲である。
- 2 鉄骨造の屋根・床において、柱まわりの下地鋼材は鉄骨工事の工事範囲である。
- 3 鉄骨造の屋根・床において、かさ上げ鋼材の設置は鉄骨工事の工事範囲である。
- 4 鉄筋コンクリート造の外壁・間仕切壁において、基礎やスラブへ埋め込むアンカーはコンクリート工事の工事範囲である。



**問題 24 外壁用 ALC パネルの施工に関して、最も不適当なものはどれか。**

- 1 縦壁ロックンク構法において、定規アングルを梁に直接取り付ける際は、溶接間隔は 600mm 以内とする。
- 2 縦壁のパネルの横目地は、標準で幅 10～20mm 程度の伸縮目地を設ける。
- 3 縦壁ロックンク構法の基礎部において、パネル裏面と定規アングルとの間に取付け金物設置による隙間が生ずるため、メジプレートを取り付ける。
- 4 横壁においては、パネル積重ね枚数 3～5 枚以下ごとにパネル重量を有効に支持して、柱などの支持構造部材にこの重量を伝達するように自重受け金物を設ける。

**問題 25 ALC パネルの受入検査に関して、最も不適当なものはどれか。**

- 1 施工者は、専門工事業者とともに ALC パネルの種類・寸法・枚数を確認する。また、外観についても異常がないことを確認する。
- 2 施工者は、ALC パネルおよび下地鋼材などの搬入される材料について、特記仕様書・施工計画書および施工図に適合していることを、目視、納品書などにより確認する。
- 3 ALC パネルの受入検査時に納品書と違うパネルを発見した場合は監理者に報告する。
- 4 ALC パネル受入時に側面の欠けがパネル長さ方向に 600mm、パネル幅方向に 150mm である場合、補修を行い、パネルを使用する。